

6.3 教育方法のあり方

進捗状況報告

授業においても、研究指導においても少人数制で密度の濃い指導が行われている。その成果の証明として、大手企業への就職率が高いことが挙げられる。ただし、新しい専攻である生命科学専攻、情報科学専攻においては年次進行に伴い、徐々に在籍学生が増加しており、これまでのような少人数教育システムが難しい状況もあるので、これについては今後改善が必要と思われる。授業形態については、マルチメディアを取り入れたりして、それぞれ独自に工夫した授業が行われている。

学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

FD委員会を中心として他大学の取り組み等を参考に、授業形態や授業方法のあり方を探っていく。

学内第三者評価

少人数教育が実現している点で基本的に授業方法の改善は達成されているという見方がされているが、他大学の取り組みなどを参考に、目標の設定としてよりきめ細かく行う必要があるのではないかと。